



バンコク週報

創刊49年

ก้าวสู่ปีที่ 49 หนังสือพิมพ์บางกอกชูโฮ

タイのホットニュースは <https://bangkokshuho.com>

85 Baht

記帳
税務申告



SHU 会計事務所

篠原電機

視覚障がい者の安全な道路横断実現へ バンコクで LED 付音響装置の実証実験

日本の国土交通省とタイの運輸省は今年 2 月 17 日、タイの首都バンコクで電材部品開発メーカー・篠原電機（本社：大阪市、篠原基一郎社長）が開発した高齢者・視覚障がい者・盲ろう者用 LED 付音響装置（通称：アイシグナル）の実証実験を行った。今回の実験では装置 2 基を使い 20 ㍎間隔の模擬交差点を設置。視覚障がい者および健常者約 35 人が治験者として参加した。

アイシグナルは視覚障がい者、視覚と聴覚に障害のある盲ろう者、高齢者の道路横断を支援する高さ 1.2 ㍎のポール型装置であり、3 つの横断補助機能が組み込まれている。まず、色弱者が形でも認識できるように赤信号は四角形、青信号は円形として至近距離から LED 光源を点灯させる機能。視野が狭くなった弱視者にとり高い位置にある信号は焦点を合わせにくい。そのため、視認性を高めるため高さを低くして横断歩道の手前に設置することにした。この高さは車いす利用者および小さい子どもの目線に合うという利点もある。



多くの治験者が参加したアイシグナルの実証実験（バンコク）



そして、信号機の音をスピーカーから流す機能。ここでも高さを 1.2 ㍎に抑えたことが意味を持つ。日本の音響式信号機の大半は 3.3 ㍎の高さから歩道に向けて音を流す出すため、騒音への配慮から夜間および早朝の時間帯は音を止める設定になっている。そのため、夜間の横断

【第 2 面に続く】

1976年 創刊



日系企業の
海外事業展開をサポート

お知らせ

掲載広告クリックでスポンサー様サイトにアクセスできるシステムを導入しております。ただ一部携帯端末で不具合の生じる場合がございますことご了承くださいますようお願い申し上げます。
(バンコク週報グループ営業部)



Bangkok Shuho International Co., Ltd.
Charn Issara Tower 1st Fl., 942/43 Rama 4 Rd.,
Suriyawongse, Bangkok, Bangkok 10500
TEL: 02-632-9179
E-mail: info@bangkokshuho.com

法人登記(会社設立)

工場用地・貸工場

月次記帳代行・決算

バンコク週報コンサルティング事業部
consultant@bangkokshuho.com
TEL: (66 2) 632-9179

ISSN XXXX-XXXX (Online)



掲載広告クリックでスポンサー様サイトにアクセスできます(一部広告を除きます)。

商社認可

BOIのIPO(商社認可)を取得すれば、外資企業も商社業を行うことが可能です。

※ただし「製造業への卸し」のみ。

認可申請についての
お問い合わせは下記まで



SHU 会計事務所

記帳 税務申告

担当: 村山

murayama@bangkokshuho.com

詳しくはこちら

タイ就労ビザ 労働許可証 申請代行

お気軽にご相談ください
タイ人との婚姻ビザも対応可

お問い合わせ先
✉ info@bangkokshuho.com
(件名: ビザ案件 / 担当: 倉林)

バンコク週報

Bangkok Shuho International Co., Ltd.
942/43 Charn Issara Tower 1st Fl., Rama 4 Rd.,
Suriyawongse, Bangkok, Bangkok 10500

【第1面から続く】

は視覚障がい者にとり極めて危険な行為となる。ただ、スピーカーの位置を地上1㍍程度とした場合は近隣住民への騒音迷惑にならないことが国立大学の実験で確かめられており、音を止める必要がなくなる。また、昼間でも3.3㍍の高さから音を流した場合、例えば横断者が傘をさしていると音が広がってしまい、視覚障がい者には音に向かって歩こうにもその音がどこで鳴っているのか判断が付かない。スイカ割り経験があるように目隠しをするとまっすぐ歩くことは非常に難しい。今回の実証実験に参加した全盲者からは「音が非常に聞きやすい。横断歩道をまっすぐ歩くことができた」との感想が聞かれた。また、歩行路が横断歩道から外れることがないように、ポール先端に傾斜をつけて進行方向を明確に示す工夫もされている。

さらに、ポール先端部には振動させる機能を組み込んだ。青信号では通常の振動、点滅時はブルブルとした震えに変わり、そして赤信号で停止。これにより盲ろう者は道路を横断するタイミングを知ることができる。この機能は盲ろう者から高い評価を受けている。

日タイ協働の「社会貢献事業」と位置付け

日本で初めてアイシグナルが設置されたのは2012年。大阪府のJR茨木駅前だった。その後、徐々に普及していき、大阪府では現在、22カ所に設けられている。大阪府警のデータでは設置前5年間と設置後の5年間を比較した場合、横断歩道での事故が52.3%減少しているという。大阪府のほか

は、岩手県、福島県、愛知県、和歌山県の警察でも採用されている。

日本での普及活動を進める一方で、海外でもアイシグナルを必要としている国があるのではないかと考えた篠原電機は、日本貿易振興機構（ジェトロ）の支援を受け、まずタイで実証実験を行うことにした。タイを選んだのは日本から近く親日国であることに加え、日本の国土交通省とタイ運輸省が2021年5月、「道路交通分野における政策立案及び技術に関する協力覚書（大臣間）」を締結したことが大きい。この覚書に基づく日タイ両国の取り組みの一環として、2024年2月8日、タイで「日タイ道路交通技術セミナー」が開催され、両国の関連機関および企業などから190人が参加。ここで篠原電機はアイシグナルを会場で展示するとともに、導入意義を発表した。同社はセミナー後、タイ盲人協会など障がい者施設4カ所を訪問するなど、タイでの設置の可能性を探っていた。

今回バンコクで行われた実証実験参加者からは「外出の機会が増える」と歓迎する意見が多数聞かれた。その一方で、両国の電圧の相違や国民性の違い、タイの交通事情を考慮したより現地化を求める声も多数出るなど、今後の展開に向けた貴重な意見が集まったようだ。

篠原電機社会貢献推進室の兼崎暁美参事は「タイの官公庁が視覚障がい者の声やニーズに耳を傾け、『アイシグナル』を正式に採用することを願っている。すべての人が安心・安全に暮らせる街づくりに貢献したい」と強調した。

（倉林義仁記者）

掲載広告クリック※でスポンサー様サイトにアクセスできます（一部広告を除きます）。



Tokyo SME Support Center

Thailand Branch Office (公財)東京都中小企業振興公社 タイ事務所

異国で戦う駐在員と共に

公的機関のセカンドオピニオンとして
タイ現地ビジネスをサポートいたします

無料

タイのビジネスに精通した経営相談員が
皆さまのお悩みにお答えします

相談時間

平日 タイ時間 13:00～17:00
(祝祭日・年末年始を除く)

相談内容

- ・経営全般(市場環境・WP/VISA)
- ・法律相談(外国人事業法・契約関連)
- ・人事労務(採用・評価・解雇等)
- ・税務会計(VAT/移転価格税制等)
- ・進出戦略(法人設立・変更・撤退)
- ・FDA相談・工場法・環境規制等

相談員



吉越 廉朗
Yasuro Yoshikoshi



藤原 正樹
Masaki Fujiwara



倉地 準之輔
Junnosuke Kurachi



益雪 大助
Daisuke Masuyuki



本間 喬之
Takayuki Homma



和田 祥太郎
Shotaro Wada



梅山 研一
Kenichi Umeyama

相談例

- トラブルを起こす従業員への警告書の発行や解雇を検討している。気を付けるべきポイント/対応策をアドバイスしてほしい
- タイ出張中の滞在期間がビザ免除期間を超えてしまい、タイの税務当局から納税を求められたが、日本本社との意見が食い違ってしまっている。何か良い方法を教えてほしい
- 税金の還付請求をしたのですが、還付されるまでに時間がかかりすぎて困っています。なぜこんなに時間がかかってしまうのでしょうか？良い対応策を教えてください
- 解雇した従業員から労働裁判の提訴があった。今後の流れや対応策を教えてください



所在地

20th Floor Interchange 21 Bldg,
399 Sukhumvit Road, Klongtoey, Nua,
Wattana, Bangkok 10110 Thailand

BTSアソーク駅直結



Eメール thai-branch@tokyo-kosha.or.jp



TEL +66 (0)2 - 611 - 2641



WEBサイト

<https://reserva.be/tokyosmethai>

